日本最古!とされる「青面金剛像庚申塔」は、四臂で二猿だった!

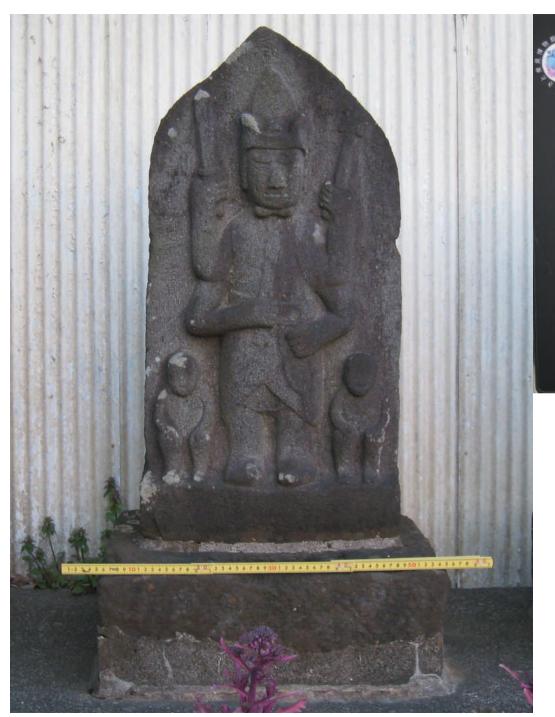
秦野 秀明

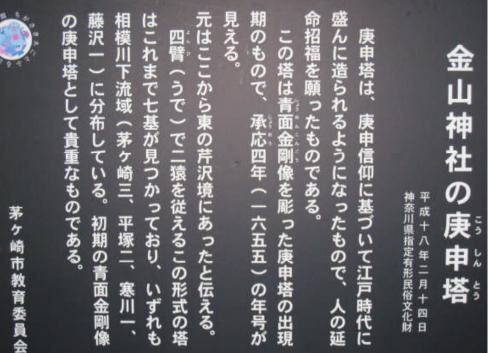
一昨日の3月24日(日)、「大曲型」の「青面金剛像庚申塔」を見て来ました。

「青面金剛」の刻像された「庚申塔」としては、日本<mark>最古!</mark>とされる「下大曲神社」の「承応二年(1653)庚申塔」は、 現在、相模国一の宮「寒川神社」の「方徳資料館」に保管されており、入館時間は16時まででしたので、こちらは次回の課題と致し、 日本で<u>3番目に古い</u>とされる茅ヶ崎市行谷「金山神社」にある「承応四年(1655)庚申塔」を見て来ました。 こちらは、「庚申供養」の文字の刻まれた「青面金剛像庚申塔」としては、日本最古!とされるようです。

「大曲型(日本石仏協会の松村 雄介氏の定義)」7基。

- 1. 承応二年(1653) 庚申塔 笠付型 四臂青面金剛像 二猿 二鶏 高座郡寒川町大曲・下大曲神社
- 2. 承応三年(1654) 庚申塔 光背型 四臂青面金剛像 二猿 茅ヶ崎市天沼・八幡大神
- 3. 承応四年(1655) 庚申塔 光背型 四臂青面金剛像 二猿 茅ヶ崎市行谷・金山神社 ※ 撮影済み
- 4. 明暦二年(1656) 庚申塔 光背型 四臂青面金剛像 二猿 藤沢市遠藤・御嶽大神
- 5. 明暦二年(1656) 庚申塔 光背型 四臂青面金剛像 二猿 平塚市大島・正福寺
- 6. 明暦四年(1658) 庚申塔 光背型 四臂青面金剛像 二猿 茅ヶ崎市十間坂・神明宮 ※ 撮影済み
- 7. (不明) 庚申塔 光背型 四臂青面金剛像 二猿 平塚市札場町・長楽寺
- ※ 出典:石川 博司(1985)『石仏研究ハンドブック』雄山閣出版, pp. 142-145 に加筆。





茅ヶ崎市行谷・金山神社

「承応四年(1655)四臂青面金剛像(二猿)庚申塔」。

「青面金剛」の刻像された「庚申塔」としては、

日本で3番目に古いとされるようです。

また、「庚申供養」の文字の刻まれた「青面金剛像庚申塔」としては、

日本最古! とされるようです。

神奈川県指定有形民俗文化財。

(撮影: 2019年3月24日)



茅ヶ崎市行谷・金山神社「承応四年(1655)四臂青面金剛像(二猿)庚申塔」。

向かって右から、「本願相刕行谷野中十右衛門」「庚申總」「供養之□(攸カ)也」「承応四年正月吉日」の刻字。(撮影:2019年3月24日) ※ 「刻字」のデータは、「捉月亭日乗」ttp://sokugetsutei.wpblog.jp/?p=1834 より引用



茅ヶ崎市行谷・金山神社「承応四年(1655)四臂青面金剛像(二猿)庚申塔」。

向かって右から、「本願相刕行谷野中十右衛門」「庚申總」「供養之□(攸カ)也」「承応四年正月吉日」の刻字。(撮影:2019年3月24日) ※ 「刻字」のデータは、「捉月亭日乗」ttp://sokugetsutei.wpblog.jp/?p=1834 より引用

庚申塔として貴重なものである。

に分布している。

初期の青面金剛

茅ヶ崎市教育委員会

神 明宮の 庚;

神奈川県指定有形民俗文化財平 成 十 八 年 二 月 十 四 日

庚申信仰に基づいて江戸時代に

ようになったもので、

人の延

んに造られ

茅ヶ崎市十間坂・神明宮

で二猿を従えるこの形式の塔

っており

暦四年(一六五八)の年号が

剛像を彫った庚申塔の出現

「明暦四年(1658)四臂青面金剛像(二猿)庚申塔」。

「青面金剛」の刻像された「庚申塔」としては、

日本で6番目に古い「青面金剛像(二猿)庚申塔」とされるようです。

神奈川県指定有形民俗文化財。

(撮影:2014年2月12日)





ケ崎市教育委員会

輪光寺の庚申塔

茅ヶ崎市指定重要文化財昭和四十四年八月十五日

んに造られ 招福を願ったものである。 庚申塔は るようになっ 庚申信仰に基づいて江戸時代に

刻まれ市内に所在する九十 に烏帽子をのせ で最も古い この塔は寛永 t のである。 ゃがんだ姿の三猿 六四〇) ・基余りの庚申塔の 舟形光背で 頭上

見ざる) 年号からは全国的にも古い三猿塔である。 す塔の移り変わりからはや このような形は同時期のものに他に類例を見 かざる、 が二段に浮き彫りにされている。 下に向か って右に言わざる、 や異質であるが、

茅ヶ崎市円蔵・輪光寺

「寛永十七年(1640)三猿庚申塔」。

日本最古!の「三猿庚申塔」とされるようです。

茅ヶ崎市指定重要文化財。

(撮影:2014年2月11日)

